

西三河地区「拡大家庭教育推進協議会」

I 概要

- 1 日時 令和元年9月4日(水) 午後2時00分～午後4時30分
- 2 会場 愛知県西三河総合庁舎 大会議室
- 3 参加者
 - ・協議会委員 21人
 - ・協議会委員以外の参加者 43名(子育てネットワーカー3人、子育て支援団体12名、民生児童委員3名、保護者14名、行政関係者6名、教員5名) 合計64名

II 日程・内容

- 1 開会行事 午後2時00分～午後2時10分

- ・主催者あいさつ
- ・優良家庭教育推進組織等顕彰

優良家庭教育推進組織の紹介

- ・上地学区家庭教育推進協議会(岡崎市)
- ・つながりのわ 日進みらいの会(碧南市)
- ・幸田町子育てネットワーカー(幸田町)



【会長あいさつ】

- 2 実践活動発表 午後2時10分～午後2時40分

【実践発表】

- ・豊田市立土橋小学校PTA(豊田市)
「地域との関わりを深め、
地域ぐるみの教育の推進を目指して」
- ・東部地区明るくたくましい子を育てる会
(西尾市)
「豊かな心をもつ園児・児童・生徒の育成」



【実践活動発表】

【紙上発表】

- 岡崎市 「学校と地域で育てる福岡っ子ー豊かな心を育てる地域ぐるみの家庭教育ー」
- 碧南市 「へきなんファミリーサポートセンターの現況
～碧南市の家庭教育支援・子育て支援施策との連携を通して～」
- 刈谷市 「心豊かにいきいきと生きる子を育てよう」
- 安城市 「誰もが楽しく、つどい、つながり、学びあって健幸に」
- 知立市 「図書館があるように科学館を！」
- 高浜市 「得意なことを生かした家庭教育のボランティア」
- みよし市 「地域との連携を深め、ともに高め合う家庭教育の推進」
- 幸田町 「深めよう！ふこうずっ子の輪」

3 情報交換会 午後2時40分～午後4時15分

<テーマ>

「新時代に求められる家庭教育の在り方とは」

情報交換の手順

【セッション1】

1. テーブル移動・自己紹介 (5分)
2. 新時代に求められる家庭教育とはどのようなもの? (20分)
 - ・今ある問題とは
 - ・求められる家庭教育とは
3. そのために自分ができることはどのようなこと? (15分)
 - ・より具体的な事例

【セッション2】

1. テーブル移動・自己紹介 (5分)
2. 新時代に求められる家庭教育とはどのようなもの? (10分)
3. そのために自分ができることはどのようなこと? (10分)

【セッション3】

1. セッション1のテーブルへ移動
2. 今後、自分はこういうことをしていきたいと宣言! (20分)

【セッション4】

1. 最初の座席へ移動
2. シェアリング 今後、自分はこういうことをしていきたい (15分)



【情報交換会】

参加者の意見から

- ・子供ファーストで子育てをしたい。家庭教育の答えはない。子育てや地域活動などを充実させるには大人が変わらないといけない。でも大人はすぐに変えることができない。
- ・地域の交流を深めるには、場の提供と地域のリーダー的存在が必要だと感じた。
- ・親の考えは様々なので、家庭教育に直接アタックするのは難しい。地域が家庭をどう巻き込んでいくかが大切。
- ・それぞれの組織が小さなことでもふれあう場を設定していく。
- ・問題解決の糸口はなかなか見つけられないが、最終的には自分自身が甘えず流されず、しっかりと家庭教育を意識しなければならない。

4 閉会行事 午後4時15分～午後4時30分

Ⅲ 課題や今後の取組について (参加者アンケートより抜粋)

1 西三河地区拡大家庭教育推進協議会の意義

- ・地域、立場の違う方と情報交換でき、よい経験ができた。スマホの使い方や子供との接しなどについて、先生等いろいろな方から意見が聞けてよかった。
- ・他の市町の活動の仕方が聞けた。地域の特色を生かした活動をされており学びが多かった。
- ・学校と地区のつながりは、行政主体ではなく、地区の「心」がある人物によって成り立っているのが問題かもしれない。行政がもう一步踏み出す状況を作らなければならない。

2 来年度へ向けての提案

- ・発表テーマが漠然としすぎているので、もう少し絞った方がよい。
- ・学校関係の方の新しい子育て観の話はもっと聞きたい。
- ・テーマについて話し合う時間が短かったので、ゆっくり話が聞けるようにもう少し時間があるとよかった。